

Retek® Data Warehouse Web 2.2.2



リリースノート



企業本部

Retek Inc.
Retek on the Mall
950 Nicollet Mall
Minneapolis, MN 55403

888.61.RETEK (toll free US)
+1 612 587 5000

本マニュアルで説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもとに提供され、その契約条件に従う場合にのみ使用できます。

欧州本部

Retek
110 Wigmore Street
London
W1U 3RW
United Kingdom

電話番号 (代表):
+44 (0)20 7563 4600

本マニュアルの情報は予告なく変更されることがあります。

Retek は内容の保全を図るため、製品資料を読み取り専用フォーマットで提供します。Retek カスタマサポートは、Retek の許可なく変更された資料についてはサポート致しかねます。

セールス窓口:
+44 (0)20 7563 46 46
Fax: +44 (0)20 7563 46 10

Retek® Data Warehouse™ は、Retek Inc. の商標です。

Retek、および Retek のロゴは、Retek Inc. の登録商標です。

Retek 日本オフィス

〒107-0061
東京都港区
北青山 3-6-7
青山パライオタワー 11F
+81 (0)3 5778-7620
Fax: +81 (0)3 5778-7640

©2002 Retek Inc. All rights reserved.

本マニュアルで言及されている他の製品名はすべて、各社の商標または登録商標であり、それに準じた取り扱いをする必要があります。

米国にて印刷。

カスタマサポート

カスタマサポート時間帯:

中央標準時 (GMT-6) に基づく月曜日から金曜日の 8AM ~ 5PM。Retek 社の休業日 (2002 年度は 1/1、5/27、7/4、7/5、9/2、11/28、11/29、12/25) を除く。

緊急時カスタマサポート時間帯:

週 7 日間 (24 時間)。

お問い合わせ方法 連絡先

電話 米国およびカナダ: 1-800-61-RETEK (1-800-617-3835)
その他の地域: +1 612-587-5000

FAX (+1) 612-587-5100

電子メール support@rettek.com

インターネット www.retek.com/support
Retek 社のお客様向け Web サイトです。問題に関する最新の情報を参照することができます。

メール Retek カスタマサポート
Retek on the Mall
950 Nicollet Mall
Minneapolis, MN 55403

カスタマサポートにご連絡いただく前に、下記の内容をご確認ください。

- 製品のバージョンおよびプログラム/モジュールの名前
- 具体的、技術的な症状 (業務に与える影響を含む)
- 問題の詳細な再現手順
- 正確なエラーメッセージ
- 問題の操作を確認できるスクリーンショット (手順ごと)

目次

第 1 章	序文	1
	概要	1
	システム要件	2
第 2 章	既知の問題と欠点.....	3
	階層に適用されたカスタムフィルタ	3
	メトリックリスト	3
	レポートのエクスポート - Microsoft Word、Excel	3
	埋め込みプロンプト	3
	レポートの保存	3
	MicroStrategy Desktop 固有のフォルダ	4
	Netscape レポートメニュー	4
	ドリルメニュー	4
	プロジェクトへのアクセス	4
	履歴リストのエントリ	4
	日本語版のヘルプファイル	5
	パスワード内の特殊文字	5
第 3 章	現在開発中の機能.....	7
	新規レポートの作成ウィザード	7
	レポート機能の強化	7
	ユーザーおよびグループの RDW Web 設定	7
	レポートのスケジュール	7

第 1 章 序文

概要

RDW Web は、Retek Data Warehouse (RDW) のレポート分析エンジンにアクセスできる直観的なインターフェイスを備えており、使いやすい柔軟なアプリケーションになっています。RDW が提供する柔軟でスケーラブルな基盤の上で、小売業者は複数の小売チャンネルを通して顧客ロイヤリティおよび製品性能を高めながら、主要な取引引きレベル情報を格納および分析し、非常に有益な意思決定の大半を行うことができます。RDW Web リリース 2.2.2 の中心となる機能は、MicroStrategy 7 プラットフォームで動作するように設計されています。今後のリリースでは、新たな機能が追加される予定です。

本リリースにおける主要機能には、以下のものがあります。

- レポートの実行
- 名前やメトリックのキーワードによるレポートの検索
- グリッドモードまたはグラフモードでのレポートデータの表示
- レポート SQL の表示
- レポート実行履歴の表示
- レポートの保存
- MS Word、MS Excel、HTML、またはテキスト形式でのレポートデータのエクスポート
- ユーザー独自のレポートの作成
- プロンプト機能 (新機能/改良された機能)
- レポートデータのドリル
- レポートの更新と再要求
- グリッド結果の並べ替えとピボット
- フィルタ詳細とレポート合計の表示/非表示
- グラフタイプの変更
- レポートグループの作成と編集
- レポートグループの実行 (ログイン時または適宜)
- MS Word、MS Excel、または HTML 形式でのレポートグループのエクスポート
- 印刷レポートへの "更新日時" の表示

RDW Web 2.2.2 の新機能には、以下のものがあります。:

- 強化された複数言語サポート

システム要件

RDW Web 2.2.2 を動作させるには、MicroStrategy 7.1.5 が必要です。システム要件の詳細については、『RDW Web 2.2.2 インストールガイド』を参照してください。

第 2 章 既知の問題と欠点

階層に適用されたカスタムフィルタ

ユーザーは、Retek Data Warehouse 内のフィルタを含む階層を移動することができます。MicroStrategy SDK では、階層内に含まれるカスタムフィルタが正常に動作しないことがあります。この機能は、MicroStrategy の問題が解決され次第、強化される予定です。

メトリックリスト

新規レポートの作成に使用されるメトリックリスト内のアイテムは、アルファベット順 (メトリック名別) に付加的に取得されます。ユーザーに表示されたメトリックはフォルダ別に並べ替えられます。たとえば、最初のフェッチで、文字 A ~ D で始まるすべてのメトリックを取得する場合、該当するメトリックは、割り当てられたメトリックフォルダ内に表示されます。ただし、この場合、そのフォルダに割り当てられた E ~ Z で始まるメトリックは表示されません。つまり、フォルダ内のアイテムが欠落しているように見えます。実際は、これらのアイテムは 2 回目以降のフェッチで返されます。

この機能は、今後の RDW Web リリースで強化される予定です。

レポートのエクスポート - Microsoft Word、Excel

- Service Release 1 未適用の Microsoft Office 2000 にレポートをエクスポートすると、エラーメッセージが表示されることがあります。SR-1 を適用すると、この問題は解決されます。
- グラフレポートは、Microsoft Excel 97 に正常にエクスポートされません。これは、Microsoft Excel 97 の機能上の問題です。

埋め込みプロンプト

最初のプロンプトへの返答を送信した後、さらに別のプロンプトが表示された場合、プロンプトの画面に戻り、新しいプロンプトがプロンプトタブの初期リストに追加されます。返答済みのプロンプトには値が保持されるため、2 回目以降は返答する必要はありません。この問題は、新規レポートの作成時、および埋め込みプロンプトを含むレポートで生じます。この機能は、今後の RDW Web リリースで強化される予定です。

レポートの保存

新しいレポートを保存する場合、[再要求] フィルタオプションを選択すると、プロンプト選択のプロセス全体が繰り返されます。このプロセスには、レポートの作成に使用されるテンプレートとフィルタの選択も含まれます。この機能は、今後の RDW Web リリースで強化される予定です。

MicroStrategy Desktop 固有のフォルダ

RDW Web では、"マイレポート" フォルダや "公共オブジェクト\レポート" フォルダなどの MicroStrategy Desktop 固有のフォルダが使用されます。これらのフォルダを削除すると、RDW Web は正常に動作しません。これは設計上の問題です。

Netscape レポートメニュー

ドリル可能なレポートを開くと、RDW Web レポートメニューにレポートのドリルチェックボックスが表示されます (Netscape 4.x のレポートメニューからアクセス可能)。このシナリオでは、すべてのレポートメニューがアクセス可能で、動作に問題はありませんが、一部のテキストがチェックボックスによって隠れてしまいます。これは、Netscape 4.x ブラウザの機能上の問題です。

ドリルメニュー

レポートのドリルメニューでは、"他の方向" に対応する階層名が誤って表示される場合があります (たとえば、「製品」の代わりに「製品 2」が表示される)。この問題は、メニューのテキストにのみ影響し、属性の選択やドリル要求の実行には差し障りありません。この機能は、MicroStrategy の問題が解決され次第、強化される予定です。

プロジェクトへのアクセス

有効な MicroStrategy ユーザーでも RDW を介してプロジェクトにアクセスできない場合があります。特定の条件下 (特に、IE 5.5 SP2 に含まれるセキュリティパッチ) では、RDW Web は、MicroStrategy Web で作成された XML データファイルにアクセスするための十分なオペレーティングシステム権限を持ちません。匿名アクセスに使用されるユーザーアカウントにディレクトリ `MicroStrategy\Web\Admin` の "読み取り" 権限を与えることにより、この問題は解決されます。

履歴リストのエントリ

レポートの複数のインスタンスが同一セッションに存在する場合、1 つのインスタンスを変更すると、予期しない結果が生じることがあります。このような事象は履歴リストで明白に現れ、レポートを操作したり、レポートインスタンスの状態を変更したりすると生じます。最終的に、同じレポートの異なるインスタンスが対象のレポートインスタンスの代わりに修正されます。

例: 履歴リストにレポートの 2 つのインスタンス (インスタンス A とインスタンス B) があるとします。合計に注目して、インスタンス A を修正します。この変更により、両方のインスタンスが影響を受けます。この機能は、MicroStrategy の問題が解決され次第、強化される予定です。

日本語版のヘルプファイル

日本語版以外のオペレーティングシステムで日本語版 RDW Web ヘルプファイルの目次を表示するには、オペレーティングシステムのデフォルトのロケールを "日本" に設定する必要があります。これは、ヘルプファイルのコンパイルに使用されるツールの機能に限界があるためです。

パスワード内の特殊文字

RDW Web のパスワードには、特殊文字を使用できません。任意の半角英数字の組み合わせのみ有効です。パスワードが無効なためユーザーがプロジェクトにアクセスできない場合は、管理者は MicroStrategy Desktop を使用して、有効な文字だけで構成されるパスワードを再設定する必要があります。RDW Web の今後のリリースでは、パスワードに特殊文字を使用できるようになります。

第 3 章 現在開発中の機能

RDW Web 用に現在開発中の機能には、以下のものがあります。

新規レポートの作成ウィザード

新規レポートの作成中にレポートのレイアウトをプレビューできる機能を提供します。

レポート機能の強化

- オブジェクトプロンプトの検索
- 名前を付けてテンプレートを保存/名前を付けてフィルタを保存
- ページごとのレポートの実行と表示
- メトリックのドリル
- レポート結果の電子メール送信
- ドキュメントの実行

ユーザーおよびグループの RDW Web 設定

管理者は、現在の RDW Web プロジェクトレベルの設定を特定のユーザーやグループに割り当てることができます。

レポートのスケジュール

ユーザーは、時間ベースまたはイベントベースのスケジュールに沿って、レポートを実行することができます。